

農業の競争力強化に向けて

平成 25 年 6 月 18 日

株式会社ローソン

代表取締役 CEO 新浪 剛史

問題意識：抜本的な効果(コスト・質的競争力)のある施策と予算の活用が必要

1. プロダクト・アウトからマーケット・インへ

- ・ 消費者の目線で、加工食品産業も含めて差別化された第 6 次産業に拡大
- ・ 地方での雇用創出の一つの中心的産業
- ・ 積極的に農業に企業を参入させる仕組みづくり（経営ノウハウや技術導入）

2. 目指すは農業の産業化（例：オランダ）

- ・ オランダ農業をモデルとし、加工食品業も含めた我が国の長期的な農業への取組をしていく
- ・ 健康長寿の促進のため、各地方にて、医食同源⇒無農薬・高ミネラルの農産物を目指し、植物工場化等を推進
- ・ 産業界との協働で科学者を集め、種子、バイオ技術等統合された研究を実施

3. マーケット・インの生産性向上への課題

- ・ 国は大枠の制度設計と自治体のベストプラクティスを横展開し、自治体が施策実行を主導
- ・ 自治体の農業施策の創意工夫を評価し競争させる仕組みづくり
→ 民間議員中心の第三者機関設置 → 優良自治体へのインセンティブを設計
- ・ 農地の集約化がまずは当面の最重要課題
→ 農地中間管理機構による土地の集約化→なぜ今までできなかったか？
→ 農業委員会の新たな役割
- ・ TPP 経済圏を中心に輸出に向けて大きく踏み出すべし。まずは、早期に輸出の成功事例を作る
→ いくつかの既に園芸農業にて成功している自治体に絞り、「輸出農業特区」を設ける